

6 スポーツ観戦

6-1 直接スポーツ観戦状況

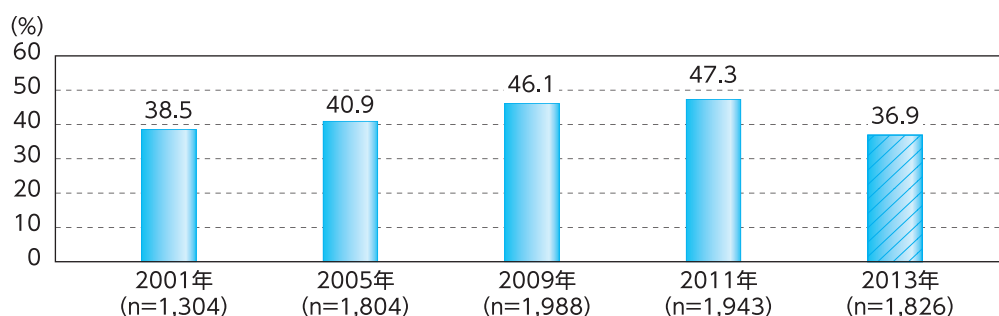
過去1年間に体育館・スタジアム等へ足を運んで直接スポーツの試合を観戦した者は、全体の36.9%であり、わが国10代の直接スポーツ観戦人口は440万人と推計された(図6-1)。2001年から直接スポーツ観戦率は増加傾向であったが、今回調査では減少がみられ、過去最も低い観戦率となった。

性別にみると、男子の観戦率は41.2%、女子は32.1%であり、男子が女子を9.1ポイント上回った(図6-2)。男子が女子を上回る傾向は、2001年から変わらない。2011年と比較すると、男子が11.7%ポイントの減少、女子が9.6ポイントの減少となり、特に女子は過去最も低い

結果となった。

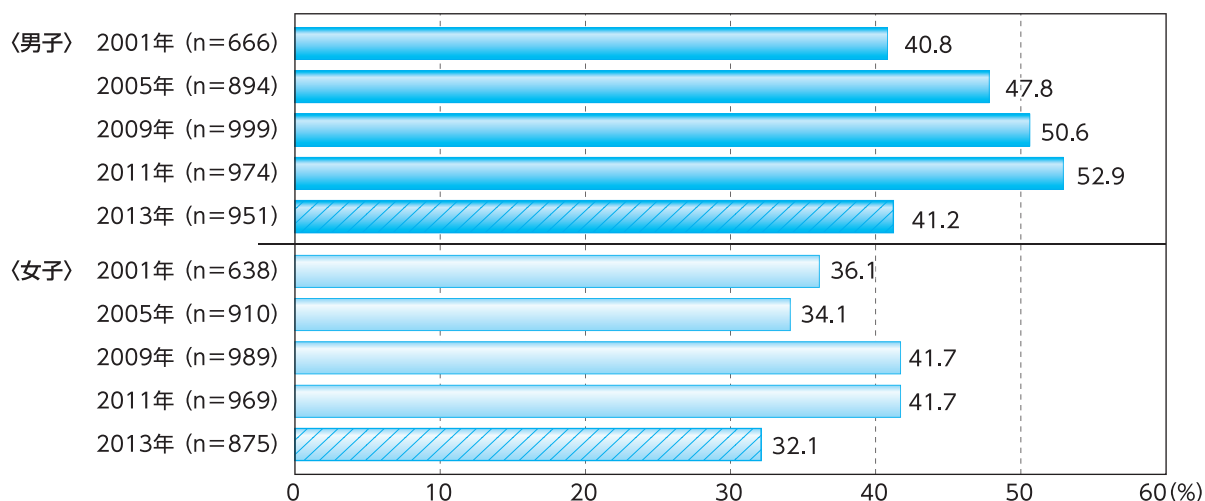
学校期別にみると、高校期が40.8%で最も高く、次いで小学校期38.4%、中学校期36.7%であった(表6-1)。2011年と比較すると、いずれの学校期も減少傾向にあり、特に中学校期、勤労者でおよそ14ポイントの減少がみられている。

運動・スポーツ実施レベル別にみると、「レベル0」17.8%、「レベル1」31.1%、「レベル2」32.5%、「レベル3」40.4%、「レベル4」48.1%と、レベルが高くなるにつれて観戦率も上昇している(図6-3)。



【図6-1】 直接スポーツ観戦率の年次推移

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013



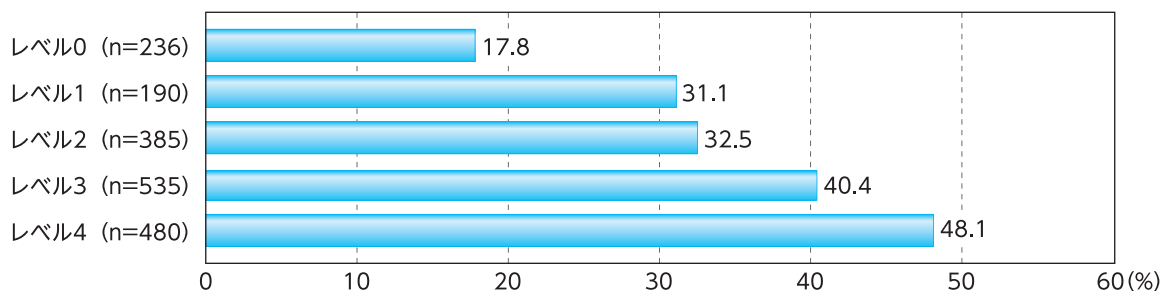
【図6-2】 直接スポーツ観戦率の年次推移(性別)

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

【表6-1】直接スポーツ観戦率の年次推移(学校期別)

2009 年		2011 年		2013 年	
学 校 期	%	学 校 期	%	学 校 期	%
小学校期 (n=410)	53.2	小学校期 (n=371)	49.9	小学校期 (n=385)	38.4
中学校期 (n=624)	47.6	中学校期 (n=590)	50.8	中学校期 (n=580)	36.7
高校期 (n=600)	43.5	高校期 (n=635)	46.9	高校期 (n=552)	40.8
大学期 (n=223)	40.8	大学期 (n=236)	44.1	大学期 (n=196)	33.7
勤労者 (n=90)	35.6	勤労者 (n=83)	32.5	勤労者 (n=85)	18.8

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013



【図6-3】直接スポーツ観戦率(レベル別)

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

6-2 直接観戦したスポーツ

直接観戦したスポーツは、全体では「プロ野球(NPB)」の割合が13.7%と最も高く、次いで「高校野球」7.9%、「Jリーグ(J1、J2)」6.5%、「バスケットボール(高校、大学、JBLなど)」3.8%、「サッカー(高校、大学、JFLなど)」3.5%となった(表6-2)。

性別にみると、男女ともに「プロ野球(NPB)」(男子17.7%、女子9.5%)が最も観戦率が高く、次いで「高校野球」(男子9.8%、女子5.9%)であった。男子では「Jリーグ(J1、J2)」9.3%、「サッカー(高校、大学、JFLなど)」4.5%が続く、女子では「バスケットボール(高校、大学、JFLなど)」5.1%、「バレーボール(高校、大学、Vリーグなど)」4.6%が続く。

学校期別にみると、高校期を除いて「プロ野球(NPB)」の観戦率が最も高い。また「プロ野球(NPB)」「Jリーグ(J1、J2)」「マラソン・駅伝」は小学校期の観戦率が最も高く、学校期が進むにつれて減少する傾向にあるが、一方で「高校野球」「バスケットボール(高校、大学、JBLなど)」「サッカー(高校、大学、JFLなど)」「バレーボール(高校、大学、Vリーグなど)」は学校期が進むにつれて、観戦率が増加する傾向がみられた。

次に、今後直接観戦したいスポーツをたずねたところ、「サッカー日本代表試合(五輪代表を含む)」が25.8%と最も高く、次いで「プロ野球(NPB)」23.0%、「海外のプロサッカー(ヨーロッパ、南米など)」14.0%、「高校野球」13.8%、「フィギュアスケート」13.4%となった(表6-3)。一方、今後「直接みたいスポーツはない」と答えた者は35.7%であった。

性別にみると、男子は「サッカー日本代表試合(五輪代表を含む)」「プロ野球(NPB)」「海外のプロサッカー(ヨーロッパ、南米など)」「Jリーグ(J1、J2)」「メジャーリーグ(アメリカ大リーグ)」「高校野球」といった、サッカーと野球の観戦希望率が高い。一方、女子は「サッカー日本代表試合(五輪代表を含む)」「プロ野球(NPB)」に加えて、「フィギュアスケート」「バレーボール(日本代表試合)」「サッカー日本女子代表試合(なでしこジャパン)」の観戦希望率が高く、種目に多様性がみられる。

学校期別にみると、いずれの学校期においても「サッカー日本代表試合(五輪代表を含む)」「プロ野球(NPB)」は観戦希望率が高い。しかし、高校期において「高校野球」の観戦希望率が高い傾向にあるが、その他に大きな特徴はみられない。

【表6-2】 直接観戦したスポーツ(全体・性別・学校期別:複数回答)

(%)

順位	種 目	全 体 (n=1,826)	男子 (n=951)	女子 (n=875)	小学校期 (n=385)	中学校期 (n=580)	高校期 (n=552)	大学期 (n=196)	勤労者 (n=85)
1	プロ野球(NPB)	13.7	17.7	9.5	19.0	15.9	11.1	9.7	5.9
2	高校野球	7.9	9.8	5.9	5.5	4.0	13.9	9.7	4.7
3	Jリーグ(J1、J2)	6.5	9.3	3.4	10.4	5.5	6.0	5.1	2.4
4	バスケットボール(高校、大学、JBLなど)	3.8	2.6	5.1	2.1	2.4	6.2	6.6	1.2
5	サッカー(高校、大学、JFLなど)	3.5	4.5	2.4	1.6	3.1	5.6	3.6	1.2
6	マラソン・駅伝	3.3	3.5	3.2	7.0	3.6	1.6	1.5	0.0
7	バレーボール(高校、大学、Vリーグなど)	2.8	1.3	4.6	0.5	2.2	4.5	4.6	3.5
8	プロバスケットボール(bjリーグ)	2.0	2.2	1.8	1.3	3.8	1.3	0.5	2.4
9	アマチュア野球(大学、社会人など)	1.5	1.9	1.0	2.3	1.0	1.3	2.0	1.2
10	サッカー日本代表試合(五輪代表を含む)	0.8	1.2	0.3	1.0	0.9	0.5	1.0	0.0
	バレーボール(日本代表試合)	0.8	0.5	1.1	0.0	1.0	1.3	1.0	0.0
12	サッカー日本女子代表試合(なでしこジャパン)	0.5	0.4	0.6	0.3	0.7	0.5	0.0	1.2
	ラグビー	0.5	0.6	0.3	1.0	0.0	0.7	0.5	0.0
13	海外のプロサッカー(ヨーロッパ、南米など)	0.4	0.6	0.1	0.3	0.9	0.2	0.0	0.0
	水泳	0.4	0.3	0.6	0.8	0.5	0.4	0.0	0.0
	バドミントン	0.4	0.2	0.7	0.5	0.3	0.4	1.0	0.0
	ハンドボール	0.4	0.2	0.6	0.0	0.0	0.9	1.0	0.0
	メジャーリーグ(アメリカ大リーグ)	0.4	0.6	0.1	0.8	0.2	0.2	0.5	0.0
	プロテニス	0.4	0.2	0.7	0.3	0.7	0.5	0.0	0.0
	直接みたことはない	63.1	58.8	67.9	61.6	63.3	59.2	66.3	81.2

資料: 笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

【表6-3】 直接観戦したいスポーツ(全体・性別・学校期別:複数回答)

(%)

順位	種 目	全 体 (n=1,782)	男子 (n=935)	女子 (n=847)	小学校期 (n=373)	中学校期 (n=568)	高校期 (n=543)	大学期 (n=193)	勤労者 (n=78)
1	サッカー日本代表試合(五輪代表を含む)	25.8	29.4	21.8	28.4	23.2	26.3	29.0	20.5
2	プロ野球(NPB)	23.0	28.8	16.5	20.6	24.6	21.9	29.0	15.4
3	海外のプロサッカー(ヨーロッパ、南米など)	14.0	19.9	7.6	14.5	13.0	14.5	14.5	16.7
4	高校野球	13.8	16.4	11.0	9.1	13.2	18.0	16.6	6.4
5	フィギュアスケート	13.4	3.7	24.1	16.4	13.7	11.6	14.0	9.0
6	サッカー日本女子代表試合(なでしこジャパン)	13.2	10.5	16.3	16.6	13.6	11.6	11.9	10.3
7	Jリーグ(J1、J2)	12.8	18.0	7.1	16.1	10.4	12.3	14.5	11.5
8	メジャーリーグ(アメリカ大リーグ)	11.8	17.4	5.7	12.3	13.6	11.4	8.8	9.0
9	バレーボール(日本代表試合)	11.2	6.3	16.5	8.3	12.5	12.0	12.4	7.7
10	プロテニス	9.5	9.8	9.2	10.7	11.4	8.1	7.8	2.6
11	プロバスケットボール(bjリーグ)	8.8	8.2	9.4	5.9	9.3	9.6	10.9	7.7
12	海外のプロバスケットボール(NBAなど)	7.9	9.5	6.0	3.8	8.8	9.9	6.2	9.0
13	サッカー(高校、大学、JFLなど)	7.6	9.3	5.8	9.1	5.8	9.2	6.2	7.7
14	バスケットボール(高校、大学、JBLなど)	7.3	6.1	8.6	3.5	7.6	9.8	7.8	6.4
15	マラソン・駅伝	5.4	5.7	5.1	7.2	4.8	4.6	6.2	3.8
16	バレーボール(高校、大学、Vリーグなど)	4.0	1.8	6.5	2.9	3.0	5.5	4.1	6.4
17	アマチュア野球(大学、社会人など)	2.9	4.4	1.3	3.5	3.0	2.2	3.6	2.6
	直接みたいスポーツはない	35.7	33.7	38.0	34.6	34.9	34.4	36.3	52.6

資料: 笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

6-3 テレビによるスポーツ観戦状況

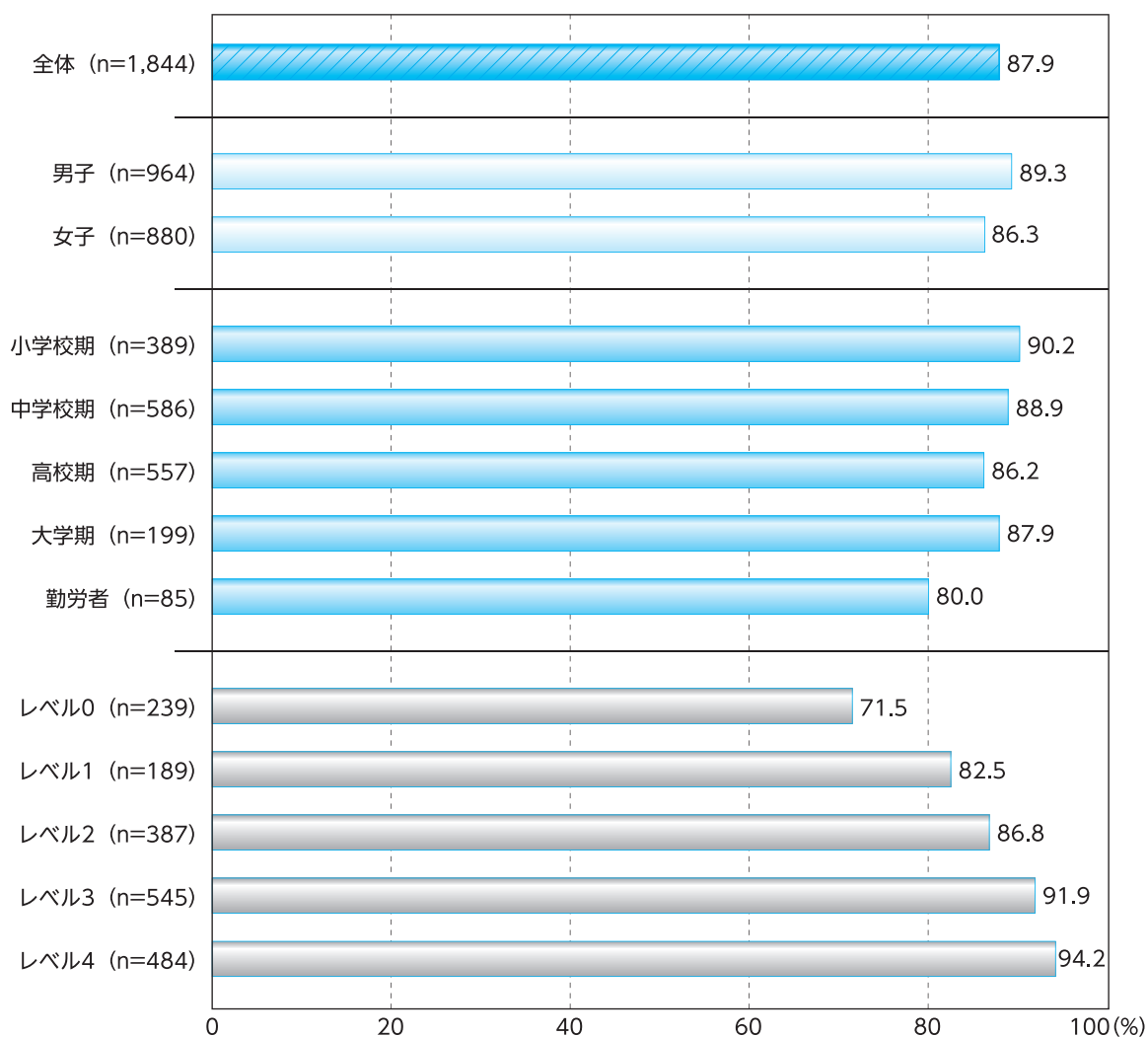
過去1年間にテレビでスポーツの試合を観戦した者は、全体の87.9%であり、わが国10代のテレビスポーツ観戦人口は1,048万人と推計された(図6-4)。

性別にみると、男子89.3%、女子86.3%であり、男子が女子を3ポイント上回った。

学校期別にみると、小学校期が90.2%と最も高く、ほとんどの小学生はテレビでスポーツを観戦している。次

いで中学校期88.9%、大学期87.9%、高校期86.2%、勤労者80.0%であった。

運動・スポーツ実施レベル別にみると、「レベル0」71.5%、「レベル1」82.5%、「レベル2」86.8%、「レベル3」91.9%、「レベル4」94.2%であり、レベルが上がるにつれて観戦率も増加する。



【図6-4】テレビスポーツ観戦率(全体・性別・学校期別・レベル別)

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

6-4 テレビによるスポーツ観戦種目

テレビで観戦したスポーツは、全体では「サッカー日本代表試合（五輪代表を含む）」が60.6%と最も高く、次いで「プロ野球（NPB）」53.0%、「サッカー日本女子代表試合（なでしこジャパン）」38.5%、「フィギュアスケート」37.9%、「高校野球」37.0%であった（表6-4）。1位と3位が男女のサッカー日本代表試合であり、人気の高さがうかがえる。

性別にみると、男女ともに「サッカー日本代表試合（五輪代表を含む）」（男子67.7%、女子52.7%）が最も高く、男子ではおよそ7割にのぼる。次いで、男子では「プロ野球（NPB）」63.1%、「高校野球」45.4%、女子では「フィ

ギュアスケート」51.0%、「プロ野球（NPB）」42.0%であり、サッカー日本代表に続いて男子では野球、女子ではフィギュアスケートの人気が高い。

また、女子では男子に比べて「バレーボール（日本代表試合）」「バレーボール（高校、大学、Vリーグなど）」の観戦率が高く、「サッカー日本女子代表試合（なでしこジャパン）」「マラソン・駅伝」「プロテニス」「バスケットボール（高校、大学、JBLなど）」は男女で違いがあまりみられない種目であった。学校期別には顕著な特徴はみられない。

【表6-4】 テレビで観戦したスポーツ（全体・性別・学校期別：複数回答）

(%)

順位	種 目	全 体 (n=1,844)	男 子 (n=964)	女 子 (n=880)	小学校期 (n=389)	中学校期 (n=586)	高校期 (n=557)	大学期 (n=199)	勤労者 (n=85)
1	サッカー日本代表試合（五輪代表を含む）	60.6	67.7	52.7	64.3	60.9	57.6	66.3	45.9
2	プロ野球（NPB）	53.0	63.1	42.0	56.3	51.7	53.1	52.8	45.9
3	サッカー日本女子代表試合（なでしこジャパン）	38.5	40.7	36.1	41.6	42.5	33.2	41.2	27.1
4	フィギュアスケート	37.9	25.9	51.0	46.3	39.2	30.7	41.7	24.7
5	高校野球	37.0	45.4	27.8	34.4	35.3	40.0	41.7	28.2
6	マラソン・駅伝	29.6	30.4	28.8	36.0	30.9	26.6	26.6	18.8
7	バレーボール（日本代表試合）	24.5	18.7	30.9	21.6	27.6	22.3	29.6	17.6
8	Jリーグ（J1、J2）	21.9	31.6	11.1	25.2	21.3	20.1	20.6	23.5
9	海外のプロサッカー（ヨーロッパ、南米など）	16.8	25.4	7.4	17.7	17.1	15.8	15.1	20.0
10	プロテニス	16.1	18.7	13.3	17.7	17.1	14.4	17.6	7.1
11	メジャーリーグ（アメリカ大リーグ）	15.5	23.2	6.9	18.8	16.4	13.8	14.1	7.1
12	サッカー（高校、大学、JFLなど）	9.7	12.3	6.7	9.0	10.4	9.5	8.0	9.4
13	海外のプロバスケットボール（NBAなど）	6.7	9.4	3.8	4.9	7.5	7.7	6.0	3.5
14	プロバスケットボール（bjリーグ）	6.4	7.8	4.9	6.4	6.3	7.4	6.0	3.5
15	バスケットボール（高校、大学、JBLなど）	4.8	4.9	4.7	2.8	4.9	5.9	5.5	2.4
	バレーボール（高校、大学、Vリーグなど）	4.8	3.4	6.3	4.1	5.1	5.6	3.0	3.5
17	アマチュア野球（大学、社会人など）	2.6	4.5	0.6	1.3	3.1	2.3	4.5	1.2
	テレビでみたことはない	12.1	10.7	13.8	9.8	11.1	13.8	12.1	20.0

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013

次に、今後テレビでみたいスポーツをたずねたところ、「サッカー日本代表試合（五輪代表を含む）」が30.1%で最も高く、次いで「プロ野球(NPB)」22.6%、「高校野球」19.7%、「サッカー日本女子代表試合（なでしこジャパン）」19.4%、「フィギュアスケート」15.4%となった（表6-5）。上位の種目はテレビで観戦したスポーツの結果とほぼ同様であった。

性別にみると、男子では「サッカー日本代表試合（五輪代表を含む）」35.3%が最も高く、次いで「プロ野球(NPB)」30.6%、女子では「サッカー日本代表試合（五

輪代表を含む）」24.5%、「フィギュアスケート」24.3%が続き、テレビで観戦したスポーツと同様の傾向を示した。「プロ野球(NPB)」や「Jリーグ(J1、J2)」などでは、女子に比べて男子の観戦希望率が顕著に高い一方で、「サッカー日本女子代表試合（なでしこジャパン）」「フィギュアスケート」「バレーボール（日本代表試合）」「プロテニス」「マラソン・駅伝」「バスケットボール（高校、大学、JBLなど）」「バレーボール（高校、大学、Vリーグなど）」といった種目では、女子の観戦希望率は男子と同程度または男子よりも高い結果を示した。

【表6-5】テレビで観戦したいスポーツ（全体・性別・学校期別：複数回答）

(%)

順位	種 目	全 体 (n=1,839)	男子 (n=960)	女子 (n=879)	小学校期 (n=389)	中学校期 (n=583)	高校期 (n=556)	大学期 (n=199)	勤労者 (n=85)
1	サッカー日本代表試合(五輪代表を含む)	30.1	35.3	24.5	29.0	28.5	31.8	34.7	24.7
2	プロ野球(NPB)	22.6	30.6	13.8	22.9	23.0	23.7	22.1	14.1
3	高校野球	19.7	24.4	14.7	11.8	18.0	26.4	25.1	12.9
4	サッカー日本女子代表試合(なでしこジャパン)	19.4	19.3	19.6	20.3	19.4	19.4	21.1	11.8
5	フィギュアスケート	15.4	7.3	24.3	15.7	15.4	14.4	20.6	8.2
6	バレーボール(日本代表試合)	14.4	9.5	19.8	10.8	15.6	16.2	17.1	8.2
7	Jリーグ(J1、J2)	13.0	19.2	6.3	14.9	12.5	12.2	12.6	12.9
8	海外のプロサッカー(ヨーロッパ、南米など)	12.9	18.5	6.7	13.1	12.2	13.8	9.0	18.8
9	プロテニス	12.2	11.6	13.0	14.4	13.0	10.4	14.1	3.5
10	メジャーリーグ(アメリカ大リーグ)	12.1	18.4	5.1	12.1	14.1	12.4	8.5	4.7
11	海外のプロバスケットボール(NBAなど)	10.7	12.0	9.2	6.9	10.3	13.5	9.0	14.1
12	プロバスケットボール(bjリーグ)	10.0	9.3	10.8	10.8	10.1	11.0	7.5	5.9
	マラソン・駅伝	10.0	11.0	8.8	9.5	9.6	11.0	11.6	3.5
14	サッカー(高校、大学、JFLなど)	7.8	9.8	5.7	7.2	7.9	9.0	6.0	7.1
15	バスケットボール(高校、大学、JBLなど)	7.5	6.3	8.9	5.7	7.5	10.4	5.0	2.4
16	バレーボール(高校、大学、Vリーグなど)	4.7	2.9	6.6	2.6	5.0	5.2	5.5	5.9
17	アマチュア野球(大学、社会人など)	3.3	5.1	1.4	4.4	3.6	2.3	3.5	1.2
	テレビでみたいスポーツはない	34.0	33.9	34.2	34.7	31.9	34.0	34.7	40.0

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2013